

## 区分：人文・社会科学

授業科目名	人間と文化（花の文化）				学期	曜日	校時
英語名	Humanity and Culture (Flowers and Culture)						
担当 教官名	正木晴彦	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	月曜日 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>世に「花よりダンゴ」とのフレーズがあるが、人間そうばかりでもない。原始時代の男性は恋人に始めて花束を捧げた時この事によって野獣性を脱したという。自然の本能を越えて人間らしくなったのである。そしてこの「花」という無用なものの得もいわれぬ用途を認識することが文化への第一歩ではなからうか。花とは人間にとって一体どんな存在なのか。ただ美しくかぐわしいだけではなからう。自然科学を離れて人文科学の見地から東西の花の文化の一端に触れてみたい。</p>							
テキスト、教材等							
教科書は用いない。							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	受講時にレポートを課して選抜し毎回の発表にて評価する。						
授業計画							
<p>第1回 Introduction, レポートテーマの揭示</p> <p>第2回 } 雪月花の思想について</p> <p>第3回 }</p> <p>第4回 } 花の逆説とその意味</p> <p>第5回 }</p> <p>第6回 } 英文資料 講読</p> <p>第7回 } <b>The Adoration of the flower for its own sake</b></p> <p>第8回 }</p> <p>第9回 }</p> <p>第10回 }</p> <p>第11回 } 古典資料講読</p> <p>第12回 } 「風姿花伝」など</p> <p>第13回 }</p> <p>第14回 }</p> <p>第15回 予備</p>							
<p>なるべく各学部合わせて10人程度(1年次)</p> <p>受講者決定方法等については、第1回目の講義時に説明する。</p>							